



ヴォーリス六甲山荘さん、満80歳おめでとう！

お年のわりにはとてもお元気で、お体も丈夫そう、いつもわたしたちをあたたかく迎えてくださるので、お訪ねするのがとても楽しみです。今年はあなたの傘寿のお祝いに特別公開（4月29日から8日間、9月13日から11日間）をし、優待券の発行をします。大勢の人が来られるでしょう。どうぞ楽しんでお迎えください。

あなたに出会えたことがきっかけで、わたしたちもいろいろなことを学びました。その学びをもっと広く深くして成長したいと考えて、文化遺産継承協議会というものをスタートしました。会員みんなで展開していきます。見ていてください。

【コラム】

文化遺産継承協議会の発足

奥村 太朗

当協会は、六甲山荘や旧乾邸の保存活動に携わってきました。また、会員の中には名建築を維持している方もいらっしゃいます。各地で活発な取り組みもされています。

しかし、戦災・震災を乗り越えた建物、当協会が調査した阪神間の建物等々、各地で歴史的建造物が取り壊される動きはとどまるところを知りません。例えば兵庫県内では、最近も塩屋の旧ジョネズ邸や遠藤周作が通ったという旧宝塚文芸図書館が取り壊されました。

そこで、個別の建物の保存と並行して、何が保存を難しくしているのか明らかにし、どうすれば保存しやすくなるのか、中長期的に研究・提言したいとの思いから、当協会の中に協議会を設けることになりました。当初メンバーは、会員の中の歴史的建造物所有者や各種専門家、保存従事者らを考えています。

当面の具体的な活動として、まずは、上期のセミナー「わたしたちにとって文化遺産とは」を行い、当協会の過去の実績や六甲山荘保存に取り入れたナショナルトラスト方式、活動の原点としての近代建築の魅力の再確認、保存はかなわなかったものの次につなげる活動を続けている旧ジョネズ邸の経験、六甲山荘旧所有者の想いをうかがって、当協会の過去と現在の立ち位置を確認するとともに、将来の方向性について探っていく機会したいと思います。

また、歴史的建造物を所有しておられる所有者の方のお話をベースに、保存にあたってどういう課題があるのか浮き彫りにしていきたいと思っています。

お知らせ

- ・六甲山荘公開再開 4月5日（土）
- ・セミナー上期 第1回 4月12日（土） 草志舎
- ・畑儀文の合唱教室 4月21日（月） 草志舎
- ・和のこもの展 4月23日（水）24日（木） 草志舎
- ・ヴォーリス六甲山荘春の特別公開 4月29日（火・祝）～5月6日（火・祝）
- ・畑儀文の合唱教室 5月19日（月） 草志舎
- ・2014年度通常総会 5月24日（土） 草志舎
- ・セミナー上期 第2回 5月10日（土） 草志舎
- ・畑儀文の合唱教室 5月19日（月） 草志舎
- ・ヴォーリス建築文化全国ネットワーク大会 6月7日（土） 関西学院

ヴォーリス六甲山荘 優待券

六甲山荘が築80年をむかえるのにあたり、今年は春と秋に特別公開をいたします。それにあわせてなるべく多くの方が山荘に来てくださるよう、優待券をつくりました。

一般の入館料が500円のところを優待券をお持ちの方は300円で入館いただけます。案内チラシと一緒にこのアメニティ便りに同封しますので、お知り合いをお誘いください。お気づきのとおりこのチラシは新しいバージョンです。若手の会員である上田敦子さんがデザインしてくださりました。すてきでしょう！

文化遺産継承協議会 調査スタッフ募集

このたび発足した文化遺産継承協議会では最初の活動として、会員の方で歴史的建築物の所有者などの関係者に面談して、文化財の保存と継承の問題について話をうかがう活動をはじめます。そのスタッフを募集します。

往訪、記録、情報の整理という作業です。関心のある方の応募、お待ちしております。

予告1 2014年度セミナー～「わたしたちにとって文化遺産とは」 <文化遺産継承協議会発足記念>

アメニティ・アカデミーの第V期セミナーは文化遺産継承協議会の主催で、「わたしたちにとって文化遺産とは」という題で次のように開きます。歴史ある建物が次々と消えていく時代に、貴重な文化遺産をどのようにすれば、私たちの手で次代につなげていけるかを、さまざまな角度から探ります。

- | | | | |
|----------|------------------------------|----|-------------------|
| 4月12日(土) | 阪神間の歴史的建築の様相 -モダニズム文化の行方 - | 講師 | 清水彬久(当協会理事長) |
| 5月10日(土) | 近代建築の魅力～近代建築の断面から読み取るもの | 講師 | 長瀬信博(建築家) |
| 6月28日(土) | ナショナル・トラスト運動 | 講師 | 清水順子(当協会事務局長) |
| 7月12日(土) | 旧ジョネス邸の保存運動 | 講師 | 森本アリ(旧グッゲンハイム邸運営) |
| 9月27日(土) | <ヴォーリズ六甲山荘築80周年記念事業> 旧小寺山荘と私 | 講師 | 森野郁子(六甲山荘旧所有者) |
- *いずれも午後2時から。講演のあと懇談の時間をもうけます。

受講料：全講座受講(5回分) 会員 8,000円 一般11,000円
一部受講 1回につき 会員2,000円 一般2,500円

定員：20名(定員に達し次第締切ます) 会場：草志舎、第5回はヴォーリズ六甲山荘

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。

ご報告1 畑儀文の合唱教室 3月17日(月) 草志舎

この合唱教室も1年がたちました。季節の歌やなつかしい唱歌など、どれもハーモニーのうつくしい歌ばかり、畑先生の指導と伴奏よろしきを得て、皆さん楽しそうにつづけてこられました。2014年度も続けてくださるのはうれしいですね。

2014年度の合唱教室

参加者の強い希望に応じて畑儀文さんの指導による合唱教室が2014年度も続けて開催されます。畑さんみずから伴奏し、一緒に歌われる贅沢な教室です。あなたも一緒にいかがですか。

開催日 原則として第3月曜日 10時半(8月はお休み、また6月は23日、7月は28日になります)

場所 草志舎(阪急西宮北口駅より徒歩3分)

参加費 会員(11回通し)20,000円 一般(11回通し)25,000円

予告

和のこもの展

春の恒例行事、和のこもの展が開かれます。和の布地を材料にしたこもの類と押し花の作品がならぶ人気の展示即売会です。上質な素材、センスのいい色づかい、ていねいな手仕事で、すてきな品々ばかりです。ぜひおいでください。

また協会は昼食と喫茶を担当します。準備と当日のスタッフも募集していますので、こちらにもご参加ください。

日時 **2014年4月23日(水)、24日(木)** 午前11時～午後3時



ご報告2 下期セミナー 第3回 3月22日(土) 甲陽園目神山

起伏の多い道路にそって個性的な家がならび、ブロック塀ではなく石垣、生垣が続くという実に魅力的な町並みでした。各家は木々のあいだに、石段の奥にたたずみ、住宅地というより別荘地のような感じです。ここに何軒もの家を建てた建築家故石井修氏の家の草地の屋根にも上らせていただきました。まちづくり協議会会長のお庭からは大阪湾が一望できる絶景でした。今回の企画の担当者の皆さんに感謝!です。



《お薦めの本》 レイチェル・ジョイス著 亀井よし子訳 「ハロルド・フライの思いもよらない巡礼の旅」

貴島 照代

65歳の平凡な男ハロルド・フライはひたすら歩きます。イギリス南部デヴォン州の片田舎からスコットランドとの境の町ベリックまで1000キロを87日かけてテクテクと。

ハロルドがある日受け取った手紙は昔の同僚女性クウィーニーからガンで余命いくばくもなくホスピスにいるという内容でした。お見舞いの手紙を投函するために家を出たハロルドは次のポストで、その次のポストでとためらっているうちにずいぶん遠くまできてしまいます。工場で事件があったときに彼女は突然辞めてしまったので、別れの言葉も交わさないままでした。ハロルドは彼女が存命のうちに会いに行かなければ、それまで彼女は待っていてくれるに違いないと信じて歩きだします。手ぶらで着替えもなく、デッキシューズのまま辛うじてキャッシュカードは持っているといういでたちで、ルートは決めず地図もない衝動的な旅です。

家には妻モーリーンがいますが、夫婦間はしっくりいっていない様子。秀才の息子デヴィッドがいるらしいのですが、安否は謎。工場でのハロルドとクウィーニーとのいきさつも含めて、旅が進むにつれ時系列を交差させたハロルドとモーリーンの回想や手紙での告白で物語は少しずつ明かされていきます。

靴ずれなどのトラブルに苦しみながら、さまざまな人から食べ物や宿泊などを差し伸べられ、ユニークな人々とも出会います。最初の日に立ち寄ったガソリンスタンドの若い女店員がなにげなく発した「わかんないことでも信じて従ってみるってこと。信じれば何かが変わることがあるんだってば。」という言葉がずっとハロルドの心の拠りどころになります。途中から悩みがあるらしい青年が道連れとなり、犬も仲間に加わります。ある記者がハロルドを取り上げるとたちまちマスコミのヒーローとなり、同行者が集まってあたかも巡礼団のようで、ロゴ入りTシャツまで作って彼らの旅程は注目のまです。

再び一人旅となるハロルドは遂にホスピスに到着、巡礼は静かに完結します。

391ページ・32章というボリュームですが、各章それぞれが一つのエピソードなので意外に読みやすい構成になっています。ゴールが近づくにつれ登場人物が話すいくつもの心に響く言葉に感動させられました。

イギリス南部から始まる旅はエクセター、ダートムーア、バース、ハロゲイト、ニューカッスルと北上します。いずれもアメニティ2000協会の旅行で連れて行っていただいた地なので情景を懐かしく思い出しながら読み終えました。

(講談社。原題 The Unlikely Pilgrimage of Harold Fry ナショナル・ブック・アワード新人賞受賞)

◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

畑先生の合唱教室

田積 照子

毎月1回、西宮北口の草志舎での合唱教室は、何とも贅沢な時間です。畑先生の選んでくださった季節の歌を8人から10人で声を合わせて歌うのです。

主に日本の歌、文部省唱歌も有り、童謡も有り、また埋もれている歌、そして最近の若い世代の歌も有りです。シューベルトの歌も歌います。

歌の指導はもちろん、伴奏も畑先生なのですが、男性の参加が少ないので畑先生は伴奏を弾きながら一緒に歌ってくださいます。時々聞きほれていて、間違えてしまいます。でも、叱られることはありません。繰り返してもう一度、みなさん一緒に歌って下さることで、前よりももっとうまく歌えた時には、ああよかった！

作曲家や作詞者のこと、歌の出来た背景についても色々教えて下さいます。西宮北口駅の近くに西宮にゆかりのある「春の唄」の歌詞が刻んであるのをご存知ですか？私達は教えて頂いてその日に見に行きました。

先生ご自身は毎日バッハやブラームスやシューベルトなどなど、難しい曲を歌ったり教えたりしていらっしゃるのので、この合唱教室だけは別の意味で楽しんでくださっているそうです。

この合唱教室をもう1年続けて頂けることになり、とっ

ても嬉しい限りです。そして歌うだけでなく会員同士がもっと親しくなれた事にもとても感謝しています。



奈良町を訪ねて

宇高 尚子

2013年度「景観保存を探究する」セミナー第2回目、2014年2月15日、「奈良町」めぐりに参加しました。

友人たちが町屋で雑貨などのセレクトショップをしていたり（その日は残念ながら定休日でした）、実家がお寺だったり、猿沢の池のほとりで生まれ育っていたり、縁の深いところなので、何回も訪れているところです。

その日は奈良にしては珍しい大雪で、参加者は軒から落ちてくるとけ出した雪と足元の10センチぐらい積もった雪に気をとられながらのそぞろ歩きでした。

日本聖公会奈良教会は近鉄駅前の商店街の中にあり、キリスト教会とは思えない、さすが古都の昭和初期の宮大工による和建築だ。建築当初から今日まで信者さんたちの信仰心と努力の賜物、今に生き生き伝える国登録有形文化財だ。古い奈良の町にあって外来の教会が根づいたのは格子柄のどっしりした木のぬくもりが建物全体に満ちあふれ、落ち着いた雰囲気をかもし出しているお蔭なのかもしれません。

庶民的な商店街のはずれに不似合いな、どっしりした大正 15 年建築の南都銀行本店が建っていた。設計は辰野金吾の弟子がし、イオニア式列柱が存在感を発揮した、重々しい建物だが列柱の上下にかわいい羊のレリーフが楽しい。

その後猿沢の池周辺の狭い道を歩き、昔の華やかな花街に至る。旧遊郭明秀館や元芸者置屋などがあり、どこかなまめかしい風情が残っている。明秀館は画家絹谷幸二の生家と聞くと、あの画家の色・雰囲気からなるほどと納得し

た。でも改めて絵を見てみると赤を中心としたいろんな色が爆発しているがその中にもしっとりとした調和が見られ古い家に育った感性が感じられて面白い。

奈良町物語館では会員の黒田さんが奈良町づくりに初期から貢献されてきた貴重な経験・成果などを話されて、歴史的な文化財を守り発展させた原動力はしっかりした見識を持ったマンパワーなのだなあと再認識しました。

他に墨の老舗古梅園、格子の家、庚申堂、元興寺、JR 奈良駅を見て古都奈良を後にしました。



元興寺塔跡の雪景色→

《六甲山荘と同期生の名建築を阪神間にたずねる》

新シリーズとして、ヴォーリズ六甲山荘と同一年の建物を紹介する連載を始めます。つまり 1934 年（昭和 9 年築）です。皆さんよくご存じの名建築がたぎつぎ登場します。この時代はちょっとした建築ラッシュだったようですね。第 1 回は白鶴美術館です。

《白鶴美術館》

白鶴美術館は神戸市東灘区、住吉川のほとりに堂々たる威容をほこる建物で、国登録有形文化財です。白鶴酒造の嘉納治兵衛により東洋古美術の収集品を展示するために建てられました。設計は竹中工務店の鷺尾九郎。鉄筋コンクリート造ながら日本の伝統建築の意匠をとり入れ、寺院建築のような印象をうけます。2 階建てですが天井が高く、豪壮という言葉がぴったりです。格天井、照明器具、建具の金具等々、風格のあるデザインが、いっそう雰囲気を盛りあげます。あちこちに鶴の意匠がちりばめられているのも楽しいです。

嘉納治兵衛という一人の実業家が、自分の集めた美術品を展示するためだけに、これだけの建物を建てたという事実、当時の実業家の財力にも圧倒される思いです。



六甲山荘たより

作業と研修

3 月 15 日（土）に行くと、先月あれだけ積もっていた雪がまったく残っていませんでした。地面はぬかるんでもいないし、あの雪は「六甲の水」になるのでしょうか。

2 日半の作業で雨戸の洗い、雪折れ枝の切り取り、ドウダンツツジと枝垂八重桜の植え込み、温水器のカバーと石窯のカバーをとりのぞき、不要なアンテナの撤去、室内の大掃除などをがんばりました。また 29 日の研修ではガイドのおさらいをしました。あとは公開を待つだけです。

枝垂桜の植え込み→



募金のご報告～～2月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

*六甲山荘ナショナル・トラスト募金

《2 月合計 22,000 円 2013 年度累計 519,890 円》

！六甲山荘マグカップができました！

ヴォーリス六甲山荘築80年を記念してマグカップをつくりました。会員の長瀬信博さんの山荘のイラストを図柄にした、おしゃれなマグカップです。限定100個！山荘でも販売しますが、会員には一足はやくお知らせします。購入ご希望の方はおはやめにご連絡ください。あしやクローバー制作の和のコースターとのセットもあります。お見のがしなく！

1個 会員価格800円（一般1000円）

和のコースターとのセット 900円（一般1100円）



お願い～振込はATMで

会費など協会へのお支払いに郵便局の振替口座をご利用いただいております。頒布物の購入などで利用される機会の多い方には払込手数料が協会負担の赤い印刷の振込用紙をお送りします。ご希望の方はご連絡ください。

それについてのお願いです。この赤い用紙で手続きのときはできるだけ窓口ではなくATMをお使いください。ATMの方が手数料が安くなっています。

世間一般と同様アメニティ2000協会も経費節減にとりくんでいます。ご協力よろしく願いいたします。

マーマレードはいかが

3月18日にマーマレードをつくりました。中嶋さん（熊本）の有機の甘夏を材料に、保存料、添加物いっさいなし、甘さひかえめのおいしいマーマレードができあがりました。六甲山荘で販売もしますが、ご希望の方にお届けします。

価格は1グラムあたり2円。皆さんから寄付してくださったガラス瓶に入れてありますので大きさはいろいろです。お送りしてもいいのですが、送料がかかりますので、手渡しできるといいですね。ご希望の方はご連絡ください。

六甲山荘の作業

目神山探訪



説明会風景



洗った雨戸をはこぶ



T氏邸より大阪湾を見晴らす



ベンガラの調査

特定非営利活動法人 アメニティ2000協会
TEL・FAX0798-65-4303 携帯080-3138-4164

事務局 西宮市北昭和町3-20
Email soshisha@f3.dion.ne.jp